

No.17	高度化		
氏名	黒田 優里香	文学研究科	M2
1. 出願時のテーマ・目標を具体的に記述してください。			
テーマ：小学生を対象とした読みやすい「こころの絵本」制作 目標：昨年度に制作した『世界中のあなたへ』という中学生以上を対象とした頑張っている人にエールを送る絵本の小学生版を制作。完成後は京都府・大阪府・滋賀県の教育委員会に寄贈する。			
2. 上述のテーマ・目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。			
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に学校現場で働いている教員の方から現状を聞く。 ・コロナ禍という特別な状況下で困っていることをニュースなどを通して情報収集する。 ・絵本の原稿を制作し、推敲、製本する。 			
5. 今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。			
大学院修了後は4月から教員に復帰するため、前作と合わせて教育現場で活用したいと思います。現在は難しいですが、コロナが落ち着いたなら制作した絵本を多くの人に披露できる(講演会など)機会があれば嬉しいです。			
6. 今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。			
教員に復帰するので、前作の『世界中のあなたへ』と今回の絵本も活用する機会に恵まれていると思います。実際に公立中学校の道徳の授業で『世界中のあなたへ』を使用した授業をしてくださった学校もありました。			
7. 今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会・周囲）への貢献・還元の点で記述してください。			
寄贈をすることで教育現場で活用して下さる機会に恵まれるので、間接的に学校にいる子どもたちへエールを送ることが可能になると思います。			

3. 個人の成長の軌跡3-1. 取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください。

3-2. グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。

私は大学院修士課程を利用して大学院に来ており、4年間公立中学校で勤務していました。そのため、昨年度は中学生以上向けの「こころの絵本」を制作しました。寄贈をするにあたり、「小学生版も作ってほしい」という声が多々あり、今年度挑戦しましたが、制作に大変苦戦しました。小学生のイメージが掴みにくく、更にコロナ禍という特殊な状況であるため、以前に勤務していた4年間とは異なる状況であるため、実際に教育現場で活躍されている先生方からお話を聞くことで現状を知ることができました。

3-3. “今回（今年度）の取り組み”と“正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？

コロナ禍という世の中に身を置きながら、更に第三者目線で距離を置いて考える機会もあったので、正課だけでなく社会を見つめる・考える機会になりました。

4. 本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか5段階で評価してください。（該当ナンバーに○）
 また、併せて評価の理由も書いてください。評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】

① 目標の達成度	4
<理由>	原稿は完成したが、まだ製本が完成していないため。
② 計画の達成度	4
<理由>	現在の教育現場の現状が掴めず、制作に苦戦したが概ね計画的に進んだため。
③ 取り組みを通じた自己成長	4
<理由>	世の中を見つめる・考える良い機会になったため。

10. 今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。

① 身についた力	対応力
② ①で記述した力について具体的に説明してください	計画がうまくいかないときに臨機応変に対応できたからです。
③ なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け・促進させた要因を記載してください	困っていることを友人に伝えたら現場について教えてくれました。